

## 第6号

## 神奈川県支部だより

事務局 藤本富士子方

## 特報

'82全国レディース  
堂々の3連覇!!

監督の任務を終えて

谷口美佐子

勝った。皆んで抱きあって喜び合ううち、体が1回、2回、3回と、空に放り出された。地に足が着いた途端、堰を切ったように泣き出してしまった。監督を受けてからこの瞬間まで、胸につかえていたものが一気にあふれ出るようでまるで幼児の様に泣いた。今回の任務はたまたま与えられた大きな試練なのだと言いつ聞かせ、自分らしく無理をしないで取り組んでいたつもりだったので、負けたらどうしようという気持は、ほんの一瞬でもかすめなかった。又、そんな事を考えている余裕も無かった。でも努力をしたから必ず報われるという補償の無いこの世で、こんな幸運に見舞われるとは…。この1カ月足らずの経験は人に誇ったり、大変だったと嘆く事柄でも無い。でも、私の胸の奥深く残り、思い出す度に、胸が熱くなると思います。助けて下さったかたがたに感謝致します。

全国大会に出場して

山本慈子

330組という予選からの戦いから始まって、代表決定の瞬間の嬉しさはひとしおでした。

個人競技でありながら、チームワークを大切とする団体競技であらねばならないという心の切り替え、私にとって昔なつかしい言葉でした。雨あり、ナイターあり、コートの移動あり、波乱の一日一日を監督以下、各々の個性をいっぱい出しながら笑い転げ、チームワークをとり、欠けた部分を埋めつくした時、全国優勝という栄冠が頭上に輝いた、何とすばらしい事か! なさそうであった、監督の存在(相手は相当、強いよ、寝てたらあかんよ)の一声、目が覚めました。

監督さん、どうもありがとう。

石田由美子

4日間の熱戦の末、ようやく神奈川V3の栄冠を持ち帰る事が出来ました。思えば今年の2月に山本さんとペアを組んだ時には「レディステニスも一緒に出ましょう、目標は来年に置いて、今年は運良く出られればいいわ、という軽い気持。それがかえって良かったように思います。優勝の喜びに加えて、今回の団体戦で始めてチームワークの大切さが解りました。喜びも苦しみも数倍強いという事も……。トーナメント期間中、不平も言わずに留守番を引受けてくれた子供達と優勝を心から喜んでくれた主人にも、そっと「有難う」を言いたいと思います。

宇野タミ

「神様、仏様、どうか小田・宮本を勝たせて下さい」、苦しい時の神だのみとはこのこと、私達が落してしまった後の三重戦、手を合わせて祈りました。9-7で決まった時は、体中の力が抜ける位でした。雨にふりこめられた日は、駐車場でランニングや体操、あがれば晴海埠頭をジョッキングし、体調を整えました。谷口監督はじめ、ユーモアあふれる楽しい方々で笑いこぼる事も多くチームワークは上々でした。苦しんでかちとった優勝杯、余計に貴重に思います。

小野都

県大会に3度挑戦し、やっと代表になれただけでも偉いのに、代表の皆様のおかげで全国V3を果たす事が出来、ただただ感謝の気持ち一杯です。48歳の私にとって、おそらく最後のチャンスでしたでしょうし、テニス人生に忘れる事の出来ない思い出を作る事が出来ました。大会後半は、睡眠不足と貧血で、すっかり体調を崩してしまった私を、監督さんをはじめ皆さんがかばって頑張ってくださいました。あとにも先にも、もうこの様な胸の熱くなる思いはない事と思います。

私は偉いものです、本当にありがとうございました。

宮本昌子

家族の協力やクラブの友達の激励を背に受け、ピンチヒッターを引き受けてから2日後にチェックイン! ここまで来たら精一杯やるしかない、が2人の合言葉でした。一戦ごとに高まるこの心地よい緊張感。準決勝、決勝と勝ち進み、ついに神奈川V3を達成出来た時、監督の胴上げと共にいままでの緊張感が涙となって散りました。支部長さんや役員の方々の御支援が大きな支えでもありました。皆様ありがとうございました。

小田光子

初体験の全国大会は、夢の様な出来事でした。県大会4位の私達が、本大会3日前に急きょ出場が決まり、練習不足などと言っているひまもなく本大会に出かけ、これはもうやるしかないと言い直り、試合に望みました。勝敗が掛かった三重戦ではドラマチックな試合展開となり、応援して下さる皆様をかなりハラハラさせた様です。意義ある優勝の喜びを味えたのも、関係者の皆様の心暖まる御支援があったことと、心からお礼を申し上げます。

## 第4回全国レディース決勝大会優勝を祝う

神奈川県テニス協会常務理事  
各種大会委員長 遠山 康彦

全国大会3年連続優勝のかかった本大会は、11月9日から12日まで、東京トピレックコートにて行われたが、谷口監督と各代表選手が見事なチームワークで、数多くの悪条件の中をよく健闘し、優勝したことは、ただ、立派の一言につきる。

大会中の悪天候による、極めて不安定な日程の変更、その上まれにみる悪いコンディションであった試合場のコート等、このような環境のため、上位シードチームが、次々と破れ去っていく中で、県代表チームは2R大阪、3R宮城、4R三重を破り、SFで北海道に楽勝、Fは千葉チームと対戦したが、No3が、落着いたプレーで、しっかりと勝ったのが大きく、No2は接戦の末、落したが、No1の対戦は、実力に大きな差があり、予想通り完勝して見事、3年連続優勝の偉業をとげた。

各方面から、「打倒神奈川県！」の声が高いが、目標にされてこそ、やりがいのあるところで、来年も、県内には有力な選手が多く見られるので、また4連勝となることを期待する。

終わりに、本大会3連勝により朝日新聞社より、従来の持ちまわりカップを県チームに寄贈されたが、これは本大会出場の監督、選手と、昨年、一昨年の代表チームの人々が、総力をあげて戦いとしたものとして未永く、よい記念となるものである。

### 「このごろ思うこと……」

元県支部理事 宮城 静代



第4回全国朝日レディースは、昨年に引き続き堂々優勝の栄冠を掌中にしました。監督ならび選手の皆様にご心からお喜びを申し上げます。全国優勝を遂げるまでの道のりの長さは、ひと言では表わし難い忍耐を要します。と同時にピラミッドの頂点に立った時、その底辺を支える多くの同好の方々の存在をも忘れてはならないことを思い起こすのです。

最近のテニス人口の増加は著しく、中でも主婦の占める位置は大きく、したがって女子連盟への入会者も多いのですが、入会しているながら実際には活動とは無縁で、会報を頼りにその活動の様子を知る方々、高齢で、はげしいトーナメントにはついて行けない方々に対応した企画、(例えば2人合わせて百歳、百10歳、百20歳といったダブルス・トーナメント)が考えられ始めてもよいのではないかとことです。

又、近頃カラーウェアが大変流行していますが、公式戦では白のウェアを着用しなければなりません。公式戦でなくても白でなければならないトーナメントはたくさんあります。よく要項を読んで決まりをまもりましょう。親善試合等はカラーウェアで大いに楽しんで良いと思います。但し、カラーウェアとは、あくまでもスポーツウェアである事を忘れてはならないと思います(普段着られなくなった様な洋服を平気で着用しているのを見かける事があります)きちっとした、けじめをつけ大いにテニスを楽しみたいものです。

### ＜桑名杯＞



これは皆様よくご存知の、日本女子テニス連盟会長の桑名寿枝子さんからこのほど寄贈されたカップをもとに新たに設けられたトーナメントです。このトーナメントは特に日頃、試合経験の少ない初心者を対象にして、なるべく一人でも多くの方々に参加していただき、テニス人口の底辺をひろめていきたいというのが趣旨である様に伺いました。ことしは第1回で、各ブロック毎に出場資格の対象を一任されましたが、来年度は「新人戦、という規定にふまえて、各ブロック共々見解統一されていくのではないのでしょうか。

### 第1回 桑名杯

(初級ダブルストーナメント)

本戦	結果
優勝	横田・樫村(上郷グリーン)
準優勝	井上・河辺(葉山インドア)
第3位	日下・今村(湘南グリーン)
〃	丸橋・大沢(大和クィーン)

と き:11月15日(月)より

と ころ:保土ヶ谷ローンTC

参加数:189名



伊波支部長より桑名杯を受ける  
横田・樫村さん

◇第15回 県支部シングルストーナメント

(於：保土ヶ谷ローン)

とき：11月15日～19日 ところ：保土ヶ谷ローン 参加者：21名					
優勝	飯尾尚子	(湘南グリーン)			
準優勝	小川加代子	(スポーツマン)			
第3位	佐藤景子	(港南ガーデン)			
第4位	小野正子	(日 経)			



県支部シングルスと桑名杯の入賞者の笑顔

◇第4回ブロック別 シングルストーナメント

◇第3回ブロック別 新人ダブルストーナメント

ブロック	とき	ところ	参加数	結 果	
A	9 / 20 (月)より	等々力コート 夢見ヶ崎ローン	98	優勝 準優勝 第3位	刈屋 浩子 (相模原T.C) 西尾 桂子 (日 経) 丸山美恵子 (菊名グ) 天野須己子 (保土ヶ谷)
B	9 / 17 (金)より	葉山グリーン 本郷台T.C	125	優勝 準優勝 第3位	佐藤 景子 (港南) 永野 昭子 (大磯) 勝屋瑠美子 (鎌倉カ) 赤羽 紘子 (シーサイド)
C	10 / 18 (月)より	厚木国際T.C	148	優勝 準優勝 第3位	酒井 信子 (厚木) 中野 信子 (寒川ローン) 湯山 和江 (南足柄) 松丸 緑 (湘南ローン)

ブロック	とき	ところ	参加数	結 果	
A	6 / 3 (木)	希望ヶ丘T.C	64	優勝 準優勝 第3位	佐藤・栗岡 (希望ヶ丘) 宮川・山下 (相模台) 丸橋・大沢 (大和クイーン) 吉岡・武藤 (大和クイーン)
B	10 / 25 (月)	金沢グリーンT.C	63	優勝 準優勝 第3位	横田・樫村 (上郷グ) 磯辺・片又 (金沢グ) 木佐木・赤松 (鎌倉宮カ) 井上・河辺 (インドア)
C	5 / 10 (月)	高麗山 寒川ローン 伊沢 テニス ガーデン	64	優勝 準優勝 第3位	日下・今井 (湘南グ) 飯田・内山 (Z O O) 浦田・土屋 (寒川ローン) 堀口・大倉 (花)

(但しCブロックのみ春のダブルスのコンソレーションを新人戦とする)



(堂々谷口監督を先頭に入場する我が神奈川チーム)



(止むなく出場を断念し)来年が期待される岡田・足立さん (於：トビレックスコート)

編 集 後 記

いよいよ82年も残り少なくなりました。ことしの県支部行事も11月中旬のシングルス及び第1回桑名杯・初級トーナメントを最後に、しずかにフィナーレを迎えました。

皆様すでにご存知のように、ことしも、我が神奈川は全国大会三連覇という輝かしい偉業を残し、広報にとっては、話題いっばいの1年となり、あれもせたい、これもせたいとの、うれしい選択にせまられた次第。早いもので広報をおひきうけてはや2年、右も左も分からない新米が、曲りなりにも、続けてこられたのは、支部長はじめ、まわりの皆様のあたたかいお導きによるものでした。模索 and 模索のうち、バトンタッチいたしますが、今後も皆様の御協力をお願い申し上げます。テニスを通して心のふれあいを……。どうぞ来る83年もよきお年となります様に。

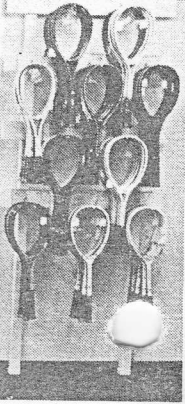
(M・KABATA)

# 信頼大きく、勢揃い。

ウインザー ラケットショップ

4Fラケット・コーナー▶

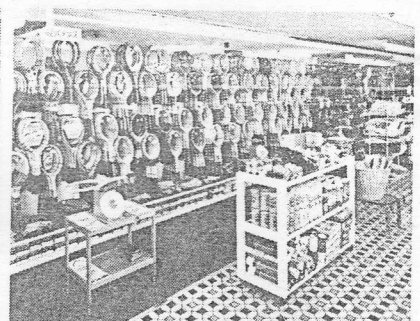
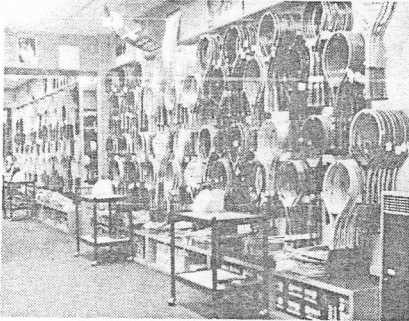
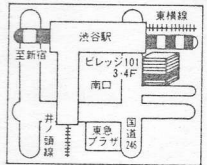
▼3Fウェア・コーナー



毎月曜日定休・祝祭日を除く

## 渋谷店

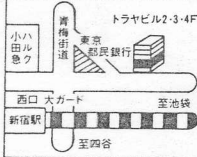
東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ビレッジ101ビル3-4階) TEL.03-464-9251~2午150  
●営業時間/午前10時~午後7時30分  
●日曜・祭日は午後7時まで



毎月曜日定休・祝祭日を除く

## 新宿店

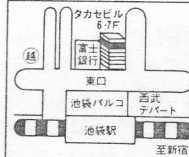
東京都新宿区西新宿7-10・20(トラヤビル2-3-4階) TEL.03-363-6848 午160  
●営業時間/午前10時~午後7時30分  
●日曜・祭日は午後7時まで



毎月曜日定休・祝祭日を除く

## 池袋店

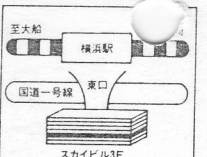
東京都豊島区東池袋1-1-4(タカセビル6-7階) TEL.03-989-0401 午170  
●営業時間/午前10時~午後7時30分  
●日曜・祭日は午後7時まで



年中無休

## 横浜店

横浜市西区高島町2-1 横浜駅東口(スカイビル3階)TEL.045-453-1785 午220  
●営業時間/午前10時~午後8時  
●日曜・祭日も午後8時まで



## テニスショップウインザー



### 横浜ルミネ店

横浜駅東口、ルミネ 4F  
TEL.045-453-3855  
A.M.10:00~P.M.8:30年中無休

### 銀座店

松屋斜め向いカネボウシグナスビルB1  
TEL.03-564-4566  
A.M.11:00~P.M.7:30第3水曜日定休



日本最大の  
テニス・バド専門店



ウインザー ラケットショップ